

熊谷市公共施設アセットマネジメント基本計画（案）
に対する意見及び市の考え方

1 意見募集期間

平成29年3月21日（火曜日）から 同年4月20日（木曜日）まで

2 意見の提出者数及び意見の件数

提出者数 1名

意見の件数 4件

3 意見の概要及び市の考え方

該当箇所	意見の概要	市の考え方
財源及び公共性に関する視点及び実施基準	○補助金利用(合併特例債等)の推進 補助金ありきの計画は当然駄目ですが、公共施設の統廃合、コンパクトシティ等は、国も推進しており補助金を受けるべきと思います(自主財源が余っているならば補助金無しが可能ですが、足りないならば他の事業にしわ寄せがきたり、未来永劫事業ができなくなったりする)。	御指摘のように、必要な事業において補助金を活用することは、想定をしております。
全般	①県、他市町村との連携の強化 消防は行田市と連携しているように、他の自治体と合同で管理する(例えばスポーツならば、さくら運動公園、スポーツ文化公園、行田市総合公園等で互いに補完業務をする。道の駅も現在の予定では3km程しか離れておらず、特色を出せるのか分からない)。	既に廃棄物処理における他市町村との連携(深谷市・寄居町と共に大里広域市町村圏組合を構成して処理施設を保有し、廃棄物を処理)などを実施しています。県や他市町村との広域連携の拡大等については、今後も検討してまいります。

(次頁に続く)

該当箇所	意見の概要	市の考え方
全般	<p>②道路整備の推進</p> <p>公共交通機関の整備も必要ですが、自動車、自転車、歩行者が利用しやすいことも必要だと思います(自動車も運転は、18歳からできるのですから、新設道路や歩道、公共施設の駐車場等を整備してほしい。自動車で家族利用の場合、年齢はもっと広がる可能性がある)。</p> <p>熊谷市中心部から、旧妻沼、旧江南、旧大里地域は、道路がありますが、旧江南と旧大里地域同士の道路は未整備です。相互利用のためにはそのような道路も整備してほしい。</p>	<p>公共交通機関(鉄道、路線バス等)と自家用車、自転車等との効果的な連携を念頭に置きつつ、地域公共交通の拡充や道路網の整備を推進しております。インフラの新規整備抑制も課題ですが、真に必要な事業については、引き続き取り組んでまいりたいと考えます。</p>
全般	<p>③情報公開と情報発信</p> <p>例えば、くまびあですが、収支(改築費用を含めて)を報告してほしい。また、市女廃校のとき、大学付属校の招致の話があったが、くまびあを開設した場合と付属校を招致した場合の市の収支・負担の比較を公開してほしい(過去の出来事なので、今更どうにかするという事はできないが、市民が、過去の事象に基づき、現在の事象、将来の予測を考察する事ができるようにすることが必要)。</p>	<p>アセットマネジメントの推進に当たり、市民と共に考えるために必要な情報の提供には努めてまいりますが、特定施設の整備等の経緯につきましては、今回の意見公募の対象である計画案とは直接の関係はありませんので、この場での回答は差し控えさせていただきます。</p> <p>なお、平成29年度上半期中の取りまとめを目指して作業中の「(仮称)熊谷市公共施設白書」では、平成26年度データに基づき、各施設のコスト状況(主としてランニングコスト)についても掲載する予定ですので、御参考にしていただければと存じます。</p>